

第1回四国中央市水道事業経営審議会会議録

日 時 平成26年6月25日(水) 13時30分～14時30分
場 所 中田井浄水場(浄水管理センター)2階会議室
出席委員 曾我孝志、石川雅博、川口吉勝、加納茂紀、鈴木信雄、
薦田洋司、野尻欣子、馬木美佐子、吉見竜児
理 事 者 谷 博文、宇田賢司、石川 茂、真鍋伸二、星川 宏、高橋育夫
星川 隆、棚橋英和
事 務 局 高橋哲也、石村佳史、佐々木奈美
傍 聴 者 1名 (報道関係者 1名)

1. 委嘱式

谷局長より委員に委嘱状を交付。

○谷博文 水道局長

挨拶

2. 理事者紹介

3. 会長・副会長選任

曾我孝志委員を会長に選出。

○曾我孝志 会長

挨拶

石川雅博委員を副会長に選出。

○石川雅博 副会長

挨拶

以下、曾我孝志会長が議長となり、議事を進行。

4. 平成25年度事業報告について

○事務局

平成25年度事業について報告。

5. 平成26年度予算及び事業予定について

○事務局

平成26年度予算及び事業について説明。

○曾我孝志 会長

水道事業会計予算について、減価償却費を含んでいるため支出が多いという説明であったが、収入と支出の差額が減価償却費と考えてよろしいですか？

○事務局

そのほとんどが減価償却費と考えていただきたい。平成26年度の三島川之江地域の減価償却費は約6億4千万円、純利益は約3億円を予定しております。

○曾我孝志 会長

土居地域の減価償却は？

○事務局

約1億1千万円です。

○曾我孝志 会長

三島川之江の営業外収益が増えている要因は？

○事務局

平成25年度と比べて平成26年度は会計制度が変わりました。平成25年度までは、補助金を受けた分については減価償却をしなくて済む「みなし償却制度」という特例がありました。ところが平成26年度からそれが廃止になったことから、1億8千万円を減価償却しなければならなくなり、同額を「長期前受金戻入」として営業外収益に計上したことによるものです。

○野尻欣子 委員

例えば、50年後にまとめて相殺していたことが、50年後に0となるよう毎年減価償却していくという仕方になったということですね。

○曾我孝志 会長

現金の動きはなく、帳簿上でのみそうなっているということですか？

○事務局

そうです。

○川口吉勝 委員

平成26年度の工事に関してだが、国庫補助は受けられないのですか？

○事務局

そうです。国庫補助を受けるにあたっては決められたメニュー以外は対象外です。施設についても耐震化以外では（補助は）ありません。補助はありませんが起債はできます。

6. 中田井浄水場等更新整備・運営事業の進捗について

○事務局

中田井浄水場等更新整備・運営事業の進捗について説明。

○曾我孝志 会長

何か質問等ございませんか？

○川口吉勝 委員

事業が1年遅れることによるマイナス影響はありますか？

○事務局

既存施設の老朽化がますます進んできます。既存施設の修繕費がかかるというリスクがあります。

7. その他について

○事務局

次回会議は、12月議会会期中に第2回審議会開催を予定しています。
内容は決算報告及び事業の進捗状況になります。

8. 閉会

○曾我孝志 会長

閉会挨拶